

# オホーツク地区 教育経営研究会

## I 運営

- 1 目的 学校教育に山積している課題を教育改革推進の視点から捉え直し、その解決に向けて法令と関連させながら解明に努め、校長としての職能向上を図る。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会
- 3 後援 北海道教育庁オホーツク教育局
- 4 主幹 オホーツク管内校長会
- 5 期日 令和3年10月14日(木)
- 6 会場 北見市民会館
- 7 参加者 オホーツク管内市町村校長会長他(35名)
- 8 派遣役員 北海道小学校長会対策部幹事 児嶋大輔 氏(札幌市立西野第二小学校長)  
北海道中学校長会事務局次長 野崎 均 氏(登別市立緑陽中学校長)  
北海道中学校長会経営部副部長 加藤秀典 氏(石狩市立花川北中学校長)
- 9 司会・記録【司会】 置戸町立置戸小学校長 佐藤章博  
【記録】 興部町立沙留小学校長 井上暁博  
【進行】 紋別市立紋別中学校長 坂田直繁  
興部町立興部小学校長 水野利幸
- 10 日程 13:00~13:10 開会式  
13:10~ 教育情勢報告  
14:30~ 研究協議  
15:50~ 閉会式



## II 情勢報告

- 1 教育情勢報告【北海道中学校長会事務局次長 野崎 均 氏】
  - (1) 北海道小学校長会・北海道中学校長会の主な活動紹介
  - (2) 教育情勢～当面する学校経営上の課題～ R3.9.16 No14
    - ・(文) デジタル教科書 ・(道) CS導入 ・(道) 4~6年度公立高配置計画案
    - ・(文) 標準時数特例校制度 ・(文) 学力調査CBT化
    - ・(文) 不登校生ICT用いた在宅学習 ・国家公務員の定年65歳に
    - ・(文) 免許更新制
- 2 令和3年度 学校経営に関する調査報告【オホーツク管内経営部長 坂田 直繁】
  - (1) 教育課程について
    - ・学力向上 ・土曜授業 ・CS ・体力向上
  - (2) 学校経営について
    - ・働き方改革 ・教頭昇任候補者の確保 ・人事評価制度
    - ・直面する課題について(学校経営・教育課程・管理運営・待遇改善・教育改革  
組織強化・GIGAスクール・時間外勤務縮減・部活動)

### 3 オホーツク管内からの質問に対する回答

(1) 北海道中学校長会 経営部副部長 加藤 秀典 氏

①北海道アクションプラン（H30～R2 から2期（R3～5）の取り組みへ）

個の『気付き』 チームの『対話』 地域との『協働』へ

今後：Road の活用 スクールロイヤールの設置 部活動の地域移行 コアチームの編成

②公務員の定年延長：6/4 法改正、段階的に実施

(2) 北海道小学校長会 対策部幹事 児嶋 大輔 氏

①オンライン授業の先進事例紹介（石狩市：双方向授業 鹿部町：1人2台端末整備）

②小学校教科担任制次年度より実地（道：高学年教科担任制）

## Ⅲ 研究協議

### 1 各市町村校長会の実践報告

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る学校行事の実施状況

【小清水町・訓子府町・置戸町・興部町・雄武町】

- ・実施可能な取り組みを模索し実施を考えている。感染状況を見極め判断時期に苦慮。
- ・早い時期にワクチン接種が始まり、町民自身の危機意識が低い。
- ・実施時間や入場制限等の感染対策を講じ、全ての行事を実施。

(2) 人材育成（若手教員・ミドルリーダー・主幹候補・教頭候補）

【大空町・遠軽町・佐呂間町・湧別町】

- ・コロナ禍による研修が遠隔となり、同世代の交流の場の減少が課題。研究団体への加入を勧める。
- ・教頭候補はいるが、即答できない状況あり。教頭の業務改善や処遇面等踏み込んだ対策必要。

(3) G I G A スクール構想

【網走市・清里町・美幌町・紋別市・滝上町】

- ・ICT 委員会等立ち上げ、教科間の差を縮めるか検討している。
- ・臨時休校対応に向け、各校研修を積んでいる。
- ・各家庭の通信環境を把握し、オンライン授業に向けた環境を整備。

(4) 働き方改革

【斜里町・北見市・津別町・西興部村】

- ・SSS 等人材確保に苦慮している。
- ・部活動の一部クラブチーム化めざす。
- ・勤務時間外の留守番電話対応が効果発揮
- ・評価時期を3回から2回に変更

## Ⅳ 富田直樹義務教育指導監より助言

- ・本日を振り返り、・特例教育課程 ・緊急事態宣言解除後の学校経営（行事・人材育成・GIGA スクール構想・働き方改革）についての情報提供と総括を頂き、研修会を締めくくった。